



『 ～専門高校の学びに自信と誇りを～ 』

校長 一ノ瀬 淳

2学期が始まり、既に3週間が経過しました。猛暑日が続いた記録的な夏の暑さも、ようやく収まりつつあります。3年生の就職希望者は、採用試験に臨んでいるかと思います。一方、進学希望者は、総合型選抜や推薦入試に向けて、面接や小論文の対策に取り組んでいる頃かと思えます。

先日、3年生の生徒が総合型選抜のエントリーシートを見てほしいと校長室に訪ねてきました。担任や学科の先生方から既に指導を受けており、素晴らしい出来栄でした。私が少し手直しをして返却する際に、その生徒は「受験に向けて何かアドバイスをお願いします」と尋ねてきました。私は、「専門高校の特徴や素晴らしさを伝えることを重要視してください」とアドバイスしました。

専門高校の授業は、「実践的な実習や実験」「課題を解決するための学習」「プロジェクト学習」などがあります。皆さんはこれまでに多くの知識や技術を習得し、科目「課題研究」では自ら課題を設定し、計画を立て、実験や研究、作品制作などとおして課題解決力を養ってきました。また、プロジェクト学習では、仲間と協力して地域課題の解決する力や新しいアイデアやアプローチを創造する力を培ってきました。このような様々な経験を入学試験や採用試験でアピールしてください。

全国の高校生の中で、専門高校で学んでいる生徒は17.5%しかいません。残りの74%は普通科、残りの10%は総合学科やその他の学科です。農業や家庭に関する学科で学んでいる生徒は、農業系が2.4%、家庭系が1.2%という少数派です。皆さんが特別であること、そしてその価値を認識してください。実践的な学びから得られる知識や技術は、本やインターネットからは得られないものです。3年生の皆さんは、専門高校での学びに自信と誇りを持ち、それをしっかりとアピールして進路を切り拓いて行って欲しいと思います。1年生と2年生にも、専門高校の学びを一層深めていく姿勢を持ってほしいと願っています。



❖ 造園技能検定 ❖

緑地計画科では、今年も2年生22名、3年生14名が造園技能検定を受検いたしました。この検定試験は実技試験と学科試験で行われます。放課後の時間や技能マイスター講習会を活用し対策を行いました。今年は例年以上に暑い日が続き大変でしたが、生徒は本当によく頑張りました。



❀ 第74回東京都学校農業クラブ連盟大会 ❀

9月8日(金)東京農業大学にて1年生農業科の生徒が第74回東京都学校農業クラブ連盟大会に参加いたしました。農業クラブ及び各種競技の説明や代議員報告が行われました。また、東京都代表として関東大会に出場した意見発表やプロジェクト発表は大変興味深い内容でした。最後には同じ農業を学んでいる学校(園芸高校、農芸高校、農産高校、瑞穂農芸高校、農業高校)の学校紹介も行われ各学校の特徴を理解することができました。



❀ 関東地区学校農業クラブ連盟大会 東京都大会 ❀



関東地区学校農業クラブ連盟大会 東京都大会が8月23日(水)~25日(金)東京農業大学で行われました。関東地区は山梨、静岡を含む1都9県で構成されており、各都県の代表者が競い合う大会です。今回は、東京大会ということもあり東京都連盟加盟校8校が運営にあたりました。当日は意見発表会(I類)、プロジェクト発表会(I類)を担当いたしました。

